

アセットマネジメント部門

下水道技術実習センター整備事業 （日本初の下水道技術専門の大型実習施設）

東京都下水道局

下水道技術実習センター全景

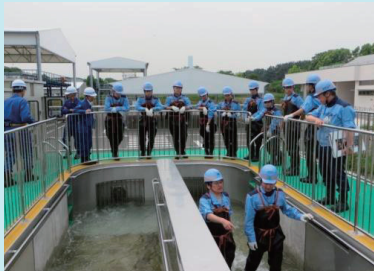


・敷地面積 約13,800㎡
・実習棟面積 約2,700㎡

実習施設一覧

土木	機械・電気
○高所作業現場モデル	○高所作業現場モデル
○開削工事現場モデル	○電気保安点検用配電設備
○路上工事保安施設モデル	○運転シミュレーション装置
○管路内水中歩行モデル	○実習用シーケンス
○人孔モデル	○保護継電器試験装置
○人孔蓋開閉モデル	○水位、流量制御試験装置
○老朽管・更生管モデル	○ポンプ性能試験装置
○土木施工機械モデル	○ポンプ故障対応設備
○コンクリート打設現場モデル	○分解・点検用ポンプ・モータ
○管路内テレビカメラ調査モデル	○測定検査用器具
○合流式下水道改善対策モデル	○配管類補修実習機器
○コンクリート防食モデル	○溶接・溶断器具
○圧力管モデル	水質管理・業務
○汚水・雨水ますモデル	○ポンプ揚水能力査定設備
○屋内排水設備モデル	○下水処理実験装置
○人孔部震災対策モデル	○事業場排水処理実験装置
○水理実験モデル	
○多目的広場	合計 32種

実習状況



管路内水中歩行実習



マンホール入坑実習



運転シミュレーション実習

PRポイント！

下水道技術実習センターは、人材の育成と技術の継承を図る日本初の下水道技術専門の大規模実習施設です。東京都江東区の砂町水再生センター内にあり、実習棟内に20種、屋外に12種の実習施設を配置しています。実習施設は、「見て」、「触れて」、「体験して」を基本的考えとし、現場を再現した条件で実習できるように、実際の現場の施設とできる限り同じ材料、構造、規模で整備しています。

当センターでは、土木や機械、電気、水質管理等の様々な分野の実習や疑似体験等、自らが体験するプロセスを通じて、知識・技術の早期習得と技術・業務ノウハウの継承を効果的に推進していきます。

また、民間事業者や他自治体等の方々にもご利用頂き、下水道界全体の人材育成に貢献していきます。

Key Person



研修担当課長
宮田雅子

実習施設の整備については、前例がなく継承すべき現場の技術を明確にする必要がありました。

このため、座学等では伝えにくい現場の技術について、局内の関係部署や監理団体へヒアリングを行い、リストアップをするとともに、局内の関係部署にアンケート調査を行い優先順位をつけることで、明らかにすることができました。